

# 2026年からの七ヶ国目の祈り

(『大韓民国と北朝鮮』『中国と台湾』)

## 【2026-ハングルでの祈り言葉ー韓国と北朝鮮への祈り】

### 🔊 韓国と北朝鮮への祈りの音声

このPDFファイルには音声発音機能がありませんので、以下のリンクを押して、音声を再生してご確認ください。

<https://zoom.peace51.net/the-prayer-for-the-seven-countries-from-2026-the-republic-of-korea-and-north-korea-china-and-taiwan/#st-toc-h-2>

### 🔊 韓国と北朝鮮への祈りの言葉

대한민국과 조선 사람들의 신성 부활이 대성취.

テハンミングクァ チョソン サラドゥリ シンソン ブファリ デソンチ。

### 🔊 単語別の意味

カタカナ	日本語の意味	ハングル
テハンミング	大韓民国と	과
クァ	と	과
チョソン (チョセオン)	北朝鮮	조선
サラドゥレ	(の) 人々の	사람들의
シンソンブファリ	神聖復活	신성부활이
デソンチ	大成就	대성취

### 🔊 「チョソン」という発音について

韓国国内では、一般的に「北朝鮮」のことを「북한 (プッカন)」と表現していますが、北朝鮮国民は自国のことを「조선 (チョソン)」と表現していま

す。そのため私達は、「北朝鮮」という国名を「조선 (チョソン)」を使用します。

また「チョソン」の箇所は、正確には「**チョセオン**」と発音します。あまり正確に書くと覚えづらいため、簡易的な表記にしています。

## 日本語と韓国語の構造的類似性と相違点

文法構造：非常によく似ている

語順（最重要）

SOV 型（主語—目的語—動詞）

日本語：私は 本を 読む

韓国語：나는 책을 읽는다

## 動詞が文末に来る点が完全に一致

助詞（格を示す）

日本語：は・が・を・に・で

韓国語：은/는・이/가・을/를・에・에서

## 語順より助詞で文の役割を示すという発想が同じ

修飾の方向      修飾語が必ず前に来る

日本語：[赤い] 花

韓国語：[빨간] 꽃

## 敬語体系：発想がほぼ同じ

敬語の三層構造

日本語      尊敬語／謙譲語／丁寧語

韓国語      主体敬語／客体敬語／話者敬語（語尾）

## 「話題の人物」と「自分」を区別して言い分ける思想が共通

③ 動詞活用：膠着語（アグルーティネーション）

語幹＋接辞を直列に積み重ねる

例)

日本語：行か＋せ＋られ＋ませ＋ん

韓国語：가＋시＋겠＋습＋니다

## 👉 文法情報を語尾で付け足す方式が同じ

主語を省略できる      文脈で主語が分かれば言わない

## 👉 音韻面の共通点と相違点

共通点

- ・母音中心
- ・子音連続が少ない
- ・リズムが比較的平坦

## 👉 相違点

項目 日本語 韓国語

拍・音節 モーラ拍 音節

子音のみ 「ん」あり パッチムあり

濃音 なし ㄱ ㄷ ㅂ など

## 👉 語彙の共通性（歴史的）

\*\*漢字語（漢語）\*\*が大量に共通

日本語：文化・経済・哲学

韓国語：문화・경제・철학

※意味・用法もかなり一致。※ ただし発音は異なる。

## 👉 決定的な違い

文字体系

日本語：漢字＋ひらがな＋カタカナ

韓国語：ハングル（表音文字）

## 👉 否定・疑問の作り方

日本語：語尾変化が中心

韓国語：補助動詞や語尾で明示的

## 👉 まとめ（核心）

日本語と韓国語は、文法構造・発想・運用が極めて近い。  
世界的に見ても、相互学習しやすい言語ペアだといえる。

ただし、同一語族とは断定できない。

一言で言うなら、文法は兄弟、語彙は親戚、文字は別世界という関係だといえる。

## －参考資料－

### 大韓民国への祈りの言葉

대한민국 사람들의 신성 부활이 대성취.

テハンミング サランドゥリ シンソン ブファリ デソンチ。

### 北朝鮮への祈りの言葉

조선 사람들의 신성 부활이 대성취.

チョソン サランドゥリ シンソン ブファリ デソンチ。

---

---

# 【2026-標準中国語での祈り言葉ー中国と台湾への祈り】

## 🔊 中国と台湾への祈りの音声

この PDF ファイルには音声発音機能がありませんので、以下のリンクを押して、音声を再生してご確認ください。

<https://zoom.peace51.net/the-prayer-for-the-seven-countries-from-2026-the-republic-of-korea-and-north-korea-china-and-taiwan/#st-toc-h-22>

## 🗨️ 中国と台湾への祈りの言葉

中国和台湾人民的神性已经重新觉醒。

ジョングオ フェー タイワン レンミン ダ シェンシン イージン チョンシン ジュエシン。

## 🗨️ 文全体のカタカナ（矢印つき 下記図解イメージ参照）

中国和台湾人民的神性已经重新觉醒。

ジョンーグオノフェーノタイノワーンーレンノミンノダ・シェンノシンノイーノジンーチョンノシンージュエノシンノ

## 🗨️ 第1～第4声の音の“図解イメージ” 『調声』は中国語の発音の肝です。

声調	図解記号	説明
第1声	—	高く平ら
第2声	↗	上がる
第3声	↘↗	いったん下がって上がる
第4声	↘	一気に落ちる
轻声	·	軽く短い

## 🔄 標準中国語 発音のルール（重要）

中国語には幾つもの方言がありますが、中国全土で通じるといわれる標準中国語は、4つの声調+軽声の5つの声のトーンの使い分けが発音の基本となります。→ 声調を間違えると音が合っても通じません。

以下の声調を頭に入れて発音を真似ることにより、日本語訛りでありながらも現地の人に通用する中国語で宣言することが出来ます。

## 🔄 調声の極めて簡単な覚え方（日本人向け）

声調	覚え方
第1声	高音で伸ばす音「ピーー」「カーン」
第2声	聞き返す音「ええ?」「What?」
第3声	短いため息の音「あああ」
第4声	強く叱る声「だっ!!」「だめっ!!」「めっ!!」
軽声	軽く添える音「ポン」「フッ」「ソッ」

## 🔄 まとめ（超要点）

第1声：高く平らな声

第2声：低い声から高い声へ

第3声：落ちて上がる声（※実際は落ちるだけの省略も多い）

第4声：高い声から一気に低い声へ

軽声：短く軽く発声する

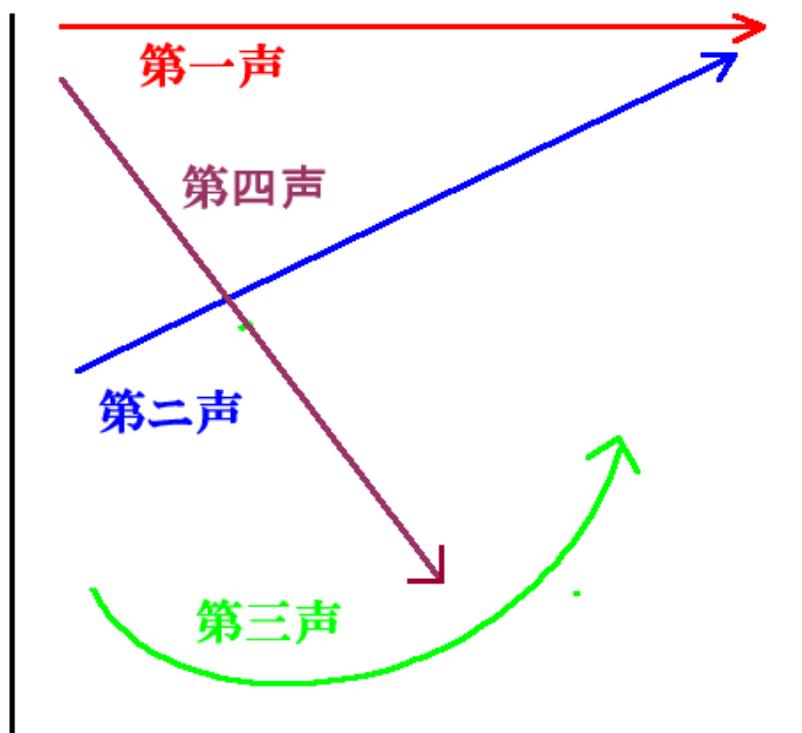
**中国語を覚える場合は、その言語の声調をまず把握して、声調のルール通りに発音するように練習してください。**

## 単語別の調声

(声調番号 + 矢印つき完全一覧) \*\*

漢字	カタカナ発音	矢印	声調	ピンイン
中	ジョン (一)	—	第1声	Zhōng
国	グオ (↗)	↗	第2声	guó
和	フェー (↗)	↗	第2声	hé
台	タイ (↗)	↗	第2声	Tái
湾	ワン (一)	—	第1声	Wān
人	レン (↗)	↗	第2声	rén
民	ミン (↗)	↗	第2声	mín
的	ダ (・)	・	轻声	de
神	シェン (↗)	↗	第2声	shén
性	シン (↘)	↘	第4声	xìng
已	イー (実際は↘)	↘↗	第3声	yǐ
经	ジーン (一)	—	第1声	jīng
重	チョン (↗)	↗	第2声	chóng
新	シーン (一)	—	第1声	xīn
觉	ジュエ (↗)	↗	第2声	jué
醒	シン (実際は↘)	↘↗	第3声	xǐng

高い音



低い音

### ✿ 第三声を実際に発声するときの注意点

上の図でわかるとおり、第三声の音は低いところで下がって上がる動きをしています。そのときに、下げた後の上がる部分は、省略されて聞えることが多いことに着目して、繰り返し聞いてみてください。(実際にはイメージのとおり、下げて上げる発音をしている箇所が少ない)

どうしてそう聞えるかといいますと、「下げて上げる」の「上げる」の部分が、実際の発音の中で省略されていることが多いからです。これは、英語の発音におけるリンキング（前の単語の語尾が子音の場合に、次の単語の頭の母音と合体して一つの音のように発音される発声）と同様の現象です。

第三声の単語の後ろが第一声または第二声の場合は、第三声の終わりの上げる部分が省略されて、音を下げた状態から第一声の高い音、または第二声の上げる声に移ります。(声調のリンキングがある)

### 🌀 単語別の意味

カタカナ	中国語	日本語の意味
ジョングオ	中国	中国

カタカナ	中国語	日本語の意味
フェー	和	〜と
タイワン	台湾	台湾
レンミン	人民	人民・人々
ダ	的	〜の（所有・修飾を表す助詞）
シェンシン	神性	神性・神聖性
イージン	已经	すでに
チョンシン	重新	再び・改めて
ジュエシン	觉醒	覚醒する／目覚める

## 標準中国語と台湾華語(台湾の標準語)について

標準中国語と台湾華語は語彙と文法がほぼ同一であり、会話時の相互理解率は95%以上だといわれています。

## 標準中国語の声調を代表的な単語で比較

(マー 媽・麻・馬・罵・吗)

単語	カタカナ近似表現	意味	声調
媽 mā	マー（高く平ら）	母	第1声
麻 má	マア（語尾を上げる）	麻	第2声
馬 mǎ	マァア（最初の声を下げて上げる）	馬	第3声
罵 mà	マァッ！（最初の声を強く低い声へ落とす）	罵る	第4声

単語	カタカナ近似表現	意味	声調
吗 ma	マ（短く軽く）	疑問の 「か？」	軽声